

1 子どもを生き育てやすく、健やかにはぐくむ街

(Point)



- ・母子保健や地域での子育て支援体制を充実させる取組み
- ・未来を担う子どもが豊かな心をはぐくむとともに相談体制の充実を推進

一主要事業一	予算額(千円)
母子保健対策	100,584
地域主体の子育てサロン設置事業	500
子育てアドバイザー養成・活動促進事業	6,700
乳幼児健康支援デイサービス事業	7,800
子どもの権利推進事業	6,000
ミニさっぽろ 2007 事業費負担等	4,500
児童クラブ等における障がいのある子どもへの対応充実	19,600
児童会館中・高校生利用促進(児童会館運営管理)	12,500
わたしたちの児童会館(児童会館運営管理)	1,000
佐藤忠良関連施設整備	112,100
スクールカウンセラー活用事業	1,800
青少年科学館展示物整備	40,000

●:新規事業、○:ヘルプアップ事業

● 妊婦健診の助成を拡充します

母子保健対策(妊婦一般健康診査)

妊婦の健康を確保するとともに不安を取り除き、安全な出産と健康な子どもの出生のため、異常を早期に発見し適切な指導を行なう目的で実施している妊婦一般健康診査の公費負担を、現行1回から5回に拡大します。

1回 ⇒ 5回まで

● 地域の子育て活動を支援します

地域主体の子育てサロン設置事業

地域主体の子育てサロンについて、これまで立ち上げ時の支援を実施してきましたが、さらに継続的な支援として、開催回数など一定の条件を充たしたサロンに対して補助を行います。

● 子育てを応援するアドバイザーを養成します

子育てアドバイザー養成・活動促進事業

親と子を支援できる専門的な知識を持つ子育てアドバイザーを養成するため、子育て・家族支援者養成講座を実施します。あわせて子育てアドバイザーを中心として父親が参加しやすい日曜日にファミリー子育てひろば(サンデーサロン)を開催します。

サンデーサロン概要

開催: 月1回午前中

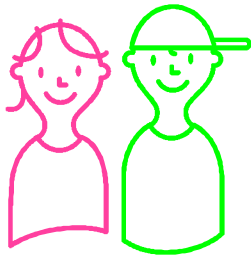
会場: 市内2か所を予定

内容: 子育てサロン、ワンポイントアドバイス等

● 子どもの権利条例制定に向けて

子どもの権利推進事業

子どもが毎日を生きいきと過ごし、自分らしくのびのびと成長・発達するために大切な子どもの権利について、条例の制定に向けて諸課題を検証し、様々な機会を通して周知を図るほか、権利侵害からの救済を図るための制度の検討などを行います。



● 心豊かな子どもをはぐくみます

ミニさっぽろ 2007 事業費負担等

子ども達が仮想の「ミニさっぽろ市」の市民として、好きな仕事を選んで働き、給料を得て、使うことを通じて、働くことの楽しさ、大切さや世の中の仕組みを学習する大きな“ごっこ遊び”を行う事業を開催します。

ミニさっぽろ 2007 事業の概要

日 程：9月29日(土)
30日(日)
会 場：月寒グリーンドーム
対 象：小学校3、4年生



● 夜間延長する児童会館を増やします

児童会館中・高校生利用促進

小学生の遊び場というイメージが強い児童会館について、中・高校生にもさらに積極的に利用してもらえるようにするため、運営時間の夜間延長を現行の20館から40館に拡充します。(中学生～午後7時まで、高校生～午後9時まで)

20館 ⇒ 40館



佐藤忠良関連施設整備

「佐藤忠良と子どもの世界」をテーマとした体験型ギャラリーを芸術の森に整備し、子どもが芸術に触れ、実際に作品を創作できる新たな機会をつくります。



青少年科学館展示物整備

難しいと思われがちな物理分野について、面白さを感じることで理解を深めるため、青少年科学館3階に体験型の力学系展示物を設置します。

● 児童会館への子どもの意見の反映を支援します

わたしたちの児童会館

児童会館において、順次設置してきている子ども運営委員会が、自分たちの意見や要望を成果として館の運営に具体化できるよう活動資金を確保し、子どもたち自らの活動に使います。



● 悩みを抱えている子どもの相談体制を充実します

スクールカウンセラー活用事業

不登校への対応・いじめ問題の解決に向けて、スクールカウンセラーだけでは対応が難しい深刻な状況や緊急的な事例への対応を強化するため、より専門的かつ高度な知識をもつスーパーバイザーを増員します。

2名 ⇒ 5名

(2区につき1名配置)



その他～新たな予算計上は伴わずに実施する取組み

・家庭訪問を希望する子育て家庭を、直接、保育士が訪問し、子育てに関する不安や悩みなどの相談や情報提供を行う事業(出前子育て相談)を、試行的に2区で実施します。



2 主体的な活動が生まれ、経済の活力みなぎる街

Point



- ・市民が主体的に行う活力あふれる地域づくりを支援
- ・経済の活力を向上するため地元企業や人の支援を充実
- ・札幌のブランド力を高める新産業を育成するとともにIT関連企業を積極的に誘致

－主要事業－

	予算額 (千円)
区民協議会のあり方等検討事業	2,400
まちづくりセンター地域自主運営化推進	3,000
厚別清掃工場跡地活用検討	3,000
地域の縁結び事業	3,000
大学と地域の連携による都市再生の推進	5,000
市民活動サポート推進事業	1,500
ものづくり産業活性化支援事業	10,500
「食のまち・札幌」道外発信事業	1,400
企業誘致促進事業	49,800
雇用創出型ニュービジネス立地促進事業	3,000
IT産業技術サポート事業	2,600
地域映像産業育成事業	4,200
デジタルコンテンツマーケット創出調査	2,000

：新規事業、：レ・アルアップ事業

● 市民主体の地域づくりを推進します

区民協議会のあり方等検討事業

地域の代表者や学識経験者、公募市民などで構成する懇談会から意見を伺い、区民協議会を中心とした新たな区民意見反映の仕組みづくりを進めます。



厚別清掃工場跡地活用検討

平成17年に解体された厚別清掃工場の跡地について、「厚別区まちづくり協議会」や区民からの提言を踏まえ、整備に向けた設計調査を行うとともに、住民との協働による維持管理の方法を検討します。



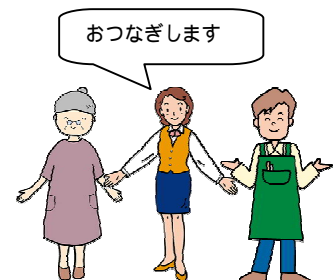
まちづくりセンター地域自主運営化推進

地域が主体的にまちづくりを進めるため、まちづくりセンターの地域自主運営化を目指し、希望する地域に対して、地域課題の解決方法の取りまとめなど必要な支援を行います。



地域の縁結び事業

まちづくりに参加したい方と活動の参加者を求めている団体などとの出会いを手助けする仕組みについて検討します。



● 大学は地域まちづくりのパートナー

大学と地域の連携による都市再生の推進

大学の知的資源と学生の活力をまちづくりに活かすため、大学地域連携ネットワーク会議や北大周辺地区でのワークショップを開催します。



● 市民活動促進条例制定に向けて

市民活動サポート推進事業

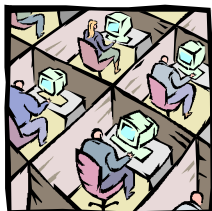
市民活動促進条例の制定に向け、まちづくりにおける市民活動の重要性を市民に周知するためのフォーラムの開催などを行います。



● IT・バイオなどの新産業を誘致・育成

企業誘致促進事業

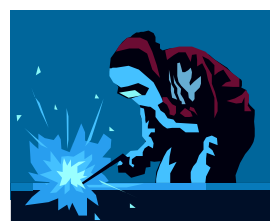
本市が積極的に振興を図っているIT、デジタルコンテンツ、バイオ等関係企業を誘致するため、事務所の立ち上げ、運営費、採用・研修費に対して補助を行います。



● ものづくり産業の革新を支援

ものづくり産業活性化支援事業

製造業を営む市内中小企業や企業グループ等に対して、新製品開発や既製品の改良、人材の育成・確保、企業ネットワークの構築への補助を行います。



雇用創出型ニュービジネス立地促進事業

札幌市が新たに誘致する証券・金融関係のコールセンターで働くために必要となる資格を取得するための研修を、その企業に就職が決まった方を対象に実施します。



● 食品関係企業の販路を拡大

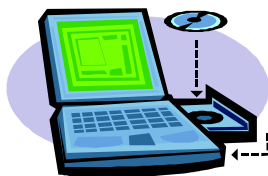
「食のまち・札幌」道外発信事業

市内の中小食品関係企業の販路拡大のため、道内金融機関と連携し、11月に東京で開催される道産食品商談会への出展を支援します。



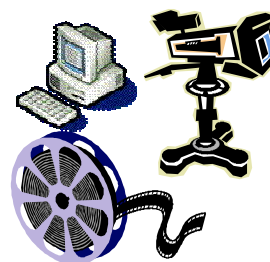
IT産業技術サポート事業

市内IT企業が開発したソフトウェアの動作検証等のために共同利用できるソフトウェア検証センターを民間と協力して立ち上げるにあたって、オープニングイベント等への補助を行います。



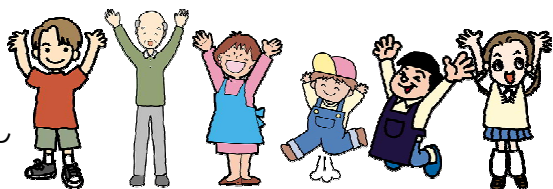
デジタルコンテンツマーケット創出調査

札幌国際短編映画祭を通じて集まったショートフィルムなどを整理・活用し、コンテンツ産業の振興を図るために、民間の活力を利用した新たな市場の形成の手法などについて調査検討します。



その他～新たな予算計上は伴わずに実施する取組み

- ・まちづくり参加・入門教室を開催します。
- ・子どもたちのまちづくり活動への参加を促進します。
- ・学生のまちづくり活動への参加を促進します。
- ・ものづくり産業への支援のあり方について調査・研究します。



3 高齢者・障がい者へのぬくもりあふれる街

Point



- ・地域における高齢者の生活を支援する介護・福祉サービスを拡充
- ・地域における障がい者の自立を支援

—主要事業—	予算額（千円）
夜間対応型訪問介護事業費補助	90,000
特別養護老人ホーム新築費補助	120,000
若年性認知症支援事業	2,206
介護療養型医療施設転換整備事業費補助	84,000
障がい者協働事業運営費補助	16,665
障がい者相談支援事業等	16,128
住宅入居等支援事業	3,200
知的障がい者等を対象としたホームヘルパー養成モデル事業	2,284
障害者就労訓練設備等整備事業費補助	14,000
重症心身障害児（者）通園事業	6,856
のぞみ学園改修調査	1,500
福祉のまちづくり公園整備	287,543

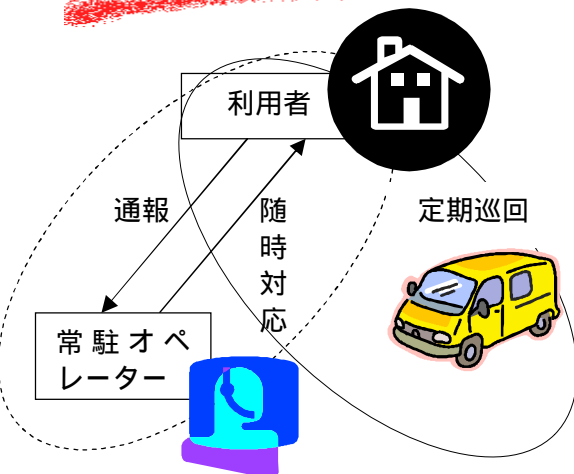
：新規事業、：レ・ラップ事業

●夜間も利用可能な訪問介護を始めます

夜間対応型訪問介護事業費補助

介護保険法改正で創設された地域密着型サービスのうち、事業者が夜間対応型訪問介護サービスを実施する際に必要となる通信設備の整備に対して補助を行います。

3事業所で全区をカバー



●特養を2か所増やします

特別養護老人ホーム新築費補助

高齢者が要介護状態になってもできる限り住み慣れた地域で生活を継続できるように、特別養護老人ホーム（地域密着型介護老人福祉施設）の新築に対して補助を行います。



●若年性認知症の方を支援します

若年性認知症支援事業

若年性認知症の方やその家族が、住み慣れた地域で安心して暮らせるように、保健師、社会福祉士等の専門職が電話で相談を受け付けるほか、研修会や交流会を実施します。



● 障がいのある方の雇用の場を増やします

障がい者協働事業運営費補助

就労場所が不足している障がいのある方の雇用の場を確保するため、障がい者を一定割合一定数雇用し、サポート体制を有する事業者に対して補助を行います。

3 か所 6 か所



● 知的障がい者の社会参加を支援します

知的障がい者等を対象としたホームヘルパー養成モデル事業

障がい者の社会参加を支援するため、NPO等と連携して、高等養護学校卒業生などの知的障がい者等を対象に、ホームヘルパー3級養成講座を実施します。



● 身近な地域で相談支援を行います

障がい者相談支援事業等

地域における障がい児(者)とその家族の生活を支えるため、各種制度の情報提供や相談ができる場所を増やします。

10 か所 12 か所



住宅入居等支援事業

一般住居への入居を希望しているが、保証人がいないこと等の理由により入居が困難な障がい者に対して、24時間支援など、入居に必要な様々なサポートを行います。

4 か所



● 公園に身障者対応トイレを整備します

福祉のまちづくり公園整備

平成18年度に制定されたバリアフリー新法を踏まえて定められた施設整備の目標に基づき、障がい者や高齢者など誰もが快適に利用できる公園にするため、身障者対応トイレを整備します。

16 か所



● 自閉症児施設の改修調査を行います

のぞみ学園改修調査

利用者に適切な療育環境を提供するため、昭和56年に開設し老朽化が進んでいる自閉症児施設「のぞみ学園」の改修について調査します。



● 重症心身障害児(者)の通園事業拡大

重症心身障害児(者)通園事業

自宅から施設に通園する重度の心身障害児(者)に、機能訓練や日常生活動作訓練などを行う場を拡充します。

6 か所 7 か所(定員5名増)

その他～新たな予算計上は伴わずに実施する取組み

- ・新たな福祉ニーズや団塊世代の退職者等の状況の変化に対応した福祉のまちづくり活動の環境整備について検討します。
- ・社会問題化している単身高齢者の孤立死防止に向けた検討をします。



4 安全・安心で、人と環境にやさしい街

Point



- ・水とみどりの保全・育成と創出を推進
- ・地球環境問題への対応と循環型社会の構築を推進
- ・日常の暮らしの安心の確保と災害に強い安全なまちを整備

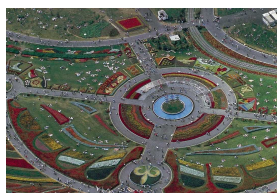
—主要事業—	予算額（千円）
市民参加による都市緑化推進事業	3,300
公園事業	523,751
国際園芸博覧会（花博）構想検討	5,000
「環境首都・札幌」宣言事業	4,300
家庭ごみ減量化調査	21,800
ごみ減量推進事業	2,300
合併処理浄化槽設置費補助	16,557
建築物環境配慮事業	7,688
メガワットソーラー共同利用モデル検討事業	3,700
環境共生型公共建築物検証事業	8,500
次世代エネルギーパーク検討事業	11,000
消費者基本計画策定	2,500
高齢消費者被害防止ネットワーク事業	2,100
救急隊増強整備	37,000
位置情報通知システム整備	47,000
消防学校寮増築	180,000
防災行政無線第2期拡充整備	6,500
画像伝送システムデジタル化整備	57,000
防火セーフティまちづくり事業	4,248

：新規事業、：レベルアップ事業

● 花博の誘致を検討します

国際園芸博覧会（花博）構想検討

環境都市を国内外に発信する国際園芸博覧会（花博）について、誘致の是非を検討するための基礎調査を行います。



● 公衆衛生を向上します

合併処理浄化槽設置費補助

下水道が整備されていない地域の公衆衛生を向上するため、し尿と雑排水を併せて処理する合併処理浄化槽の設置費補助を拡充します。



● 循環型社会の構築を進めます

家庭ごみ減量化調査

家庭ごみの減量リサイクルに向けた、市民意識調査、ごみ減量リサイクル関係調査、市民意見交換会を行います。



ごみ減量推進事業



定山溪地区での生ごみ堆肥化施設の整備に向けた構想を策定するとともに、すすきの地区でビルから発生するごみ分別を進めるモデル事業を行います。

● 地球環境への対応を進めます

「環境首都・札幌」宣言事業



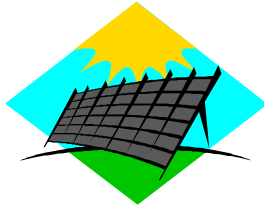
世界に向け「環境首都・札幌」を宣言するための環境憲章・行動目標の素案策定及びエネルギー戦略会議の設立準備などを行います。

メガワットソーラー共同利用モデル検討事業

1,000kw級の大規模な太陽光発電施設を国、市、民間、市民が協力して設置利用するためのモデル事業の基礎調査を行います。

次世代エネルギーパーク検討事業

複数の新エネルギー技術を集約した「次世代エネルギーパーク」整備の基本構想を策定します。



建築物環境配慮事業



一定規模以上の建物建築の際に、事業者自ら総合環境性能評価を行い、その結果を市に届け出るとともに市が公表する「建築物環境配慮制度」(CASBEE札幌)を導入します。

● 安全・安心を確保します

高齢消費者被害防止ネットワーク事業

地域包括支援センターや民生委員などと消費者センターがネットワークを構築し、高齢者の消費者被害の早期発見や救済に努めます。



3区で試行実施

位置情報通知システム整備

これまで119番通報に係る発信場所が特定できなかった携帯電話・IP電話等について、新たに発信位置が特定できる機能を既存のシステムに導入し、出動時間の短縮を図ります。

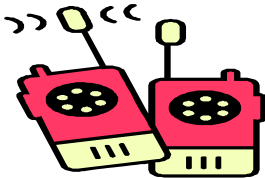


救急隊増強整備

増加する救急車の出動要請への対応や救急活動の迅速化、救命率の向上を図るために救急隊を1隊増強し一層の救急体制の充実に努めます。

札幌出張所に配備

防災行政無線第2期拡充整備



災害時に電話回線が途絶した場合に備え、デジタル式防災行政無線が未整備の小学校等の収容避難場所や防災関連機関に整備するための設計・調査を行います。

H21年度まで300基整備予定

その他～新たな予算計上は伴わずに実施する取組み

- ・(仮称)犯罪のない安全で安心なまちづくり条例の制定に向けた検討に着手します。



5 文化の薫る、都市の魅力が輝き、にぎわう街

Point



- ・札幌の特色を活かして、多様な文化芸術を楽しめる環境を整備
- ・札幌の魅力と活力を高める都市の整備を推進
- ・新たな集客交流資源の発掘と魅力の発信

—主要事業—	予算額（千円）
芸術文化情報発信事業	12,700
創成川アートワーク事業	5,500
文化芸術振興条例に基づく基本計画策定	4,800
厚生年金会館検討事業	8,000
アイヌ文化交流センター集客PR事業	5,900
新中心市街地活性化基本計画策定	5,100
大通公園スケートリンク・スクエア事業	7,000
新たな秋のイベント調査	2,500
藻岩山魅力アップ構想推進事業	17,700

：新規事業、：レベルアップ事業

● 文化情報ステーションがオープン！

芸術文化情報発信事業

札幌市内で行われるさまざまな文化イベント情報を集約し、紹介する文化情報ステーションを地下鉄大通駅構内に開設するとともに、その情報を広く発信するためのホームページを併せて制作します。



文化情報ステーション
(イメージ図)

平成19年10月オープン

● 大通公園にスケートリンクを！

大通公園スケートリンク・スクエア事業

平成20年度からの本格実施に向けて、冬の大通公園にスケートリンクを試行的に開設します。

<概要>

- ・会場/大通公園西1丁目
- ・期間/雪まつり期間



● 北海道厚生年金会館の存続に向けて検討します

厚生年金会館検討事業

文化活動の拠点施設として、大きな役割を果たしてきた北海道厚生年金会館の文化ホールについて、行政、経済界、市民の協働による取得や運営方法を検討します。



● 都市の顔である都心を魅力アップ！

新中心市街地活性化基本計画策定

都心部の魅力や活力を高めるために、今後取り組むべき施策や事業を体系化したアクションプログラムを2か年で策定します。



また、プログラムの実行主体となる「まちづくり会社」の設立準備等、民間主体のまちづくりを積極的に支援します。

その他～新たな予算計上は伴わずに実施する取組み

- ・アイヌ施策推進計画策定に向けた調査を実施します。

6 その他の取組み

円山動物園

園内施設整備基本計画策定 20,000 千円

平成 19 年 3 月に策定した動物園基本構想をもとに、動物園内の整備を計画的に進めるための基本計画を策定します。



北方圏動物展示ゾーン整備 148,000 千円

老朽化したオオカミ舎を解体し、エゾシカとトナカイを加えた北方圏の動物たちの総合的な生態展示ゾーンとして再整備します。



こども動物園整備 63,900 千円



こども動物園の学習効果を一層高めるため、ふれあい重視型に改修を行うほか、エリア内に新たに障がい者も利用できるトイレを設置します。

道路・河川

道路・街路・河川事業 1,986,865 千円

慢性的な渋滞の緩和対策等のほか、市民の安全で快適な生活環境を確保するため、生活道路等の整備を進めます。

除雪機械整備 293,000 千円

今後の安定した除雪体制を維持するため、除雪車を 13 台購入し、冬期間の市民生活や経済活動を支えます。



図書館

図書館サービス網整備事業 4,200 千円

市全域から図書館サービスの提供を可能とする図書館サービス網に、新たに篠路コミュニティセンターと(仮称)清田区地区センターを加えるためのネットワーク整備を行います。



山口斎場

山口斎場サービス購入 38,823 千円

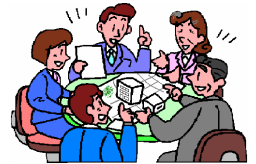
里塚斎場の大規模改修による休場に伴い、特に混雑が予想される冬期間、休業日を設けず毎日開場します(元旦は休業)。



住環境等

郊外住宅地における住環境保全推進事業 7,000 千円

宅地化当初と年齢構造が変化してきた郊外住宅地の住環境を保全するため、土地利用ルールのあり方や土地の利用転換等を検討します。



歴史的建造物等を生かした景観ガイドライン策定 2,500 千円

歴史的建造物等の周辺環境に対して、景観の配慮を示すガイドラインを策定するための基礎調査を実施します。



：新規事業、：レバ・ルアップ事業